



# 沖縄県の環境

① 沖縄銀行

# 沖縄県の地理的優位性



アジア主要都市の多くが4時間圏内にあり、東アジアの中心に位置する。



沖 縄	ソウル	2時間10分
	青島	2時間50分
	上海	2時間5分
	台北	1時間30分
	香港	2時間35分
	バンコク	4時間25分
	シンガポール	5時間
	アモイ (15年10月より)	2時間
	マニラ (15年10月より)	3時間
	成田	2時間25分
	羽田	2時間20分
	名古屋	2時間15分
	関空	1時間50分



# 沖縄成長産業戦略～アジアゲートウェイとして発展～

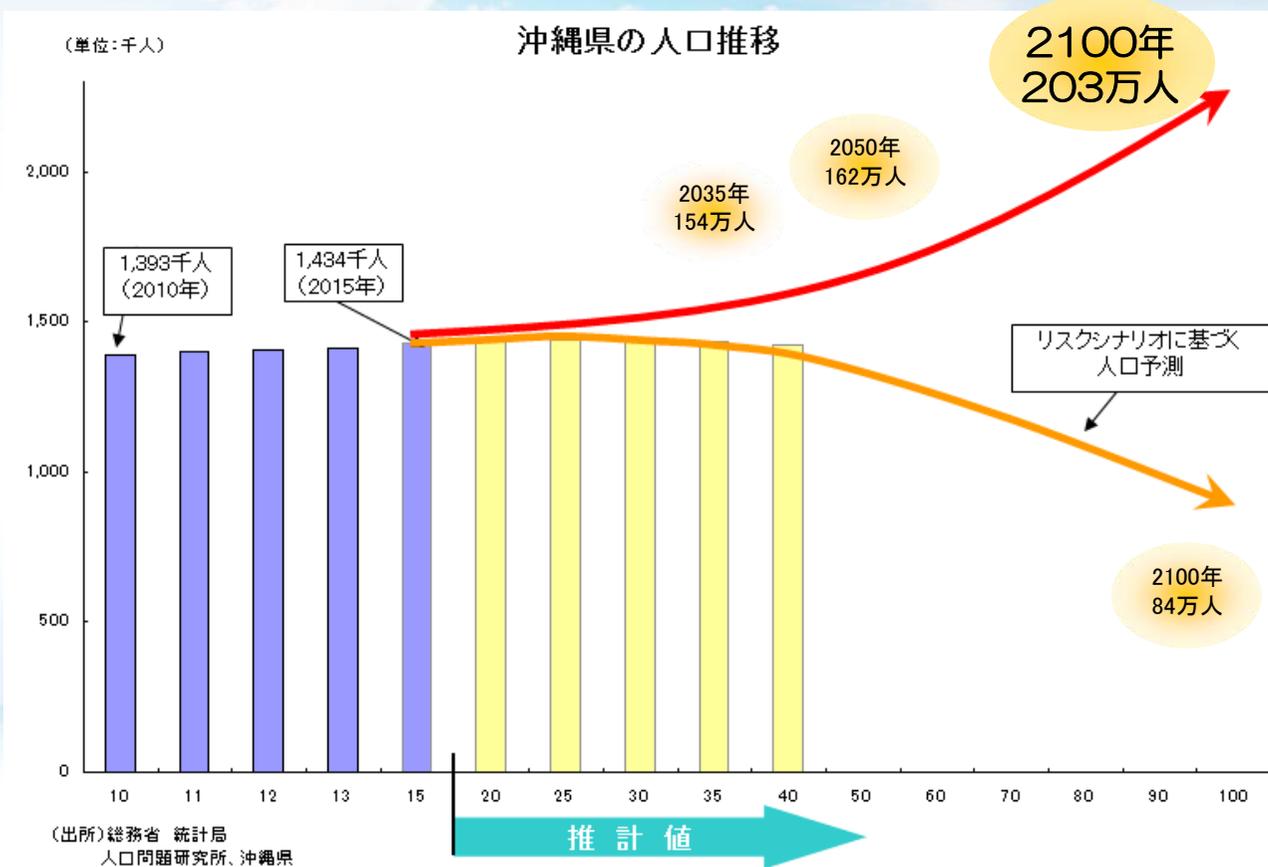


出所：九州・沖縄地方産業競争力協議会沖縄分科会報告書



# 沖縄の人口(将来展望)

2025年以降減少に転じることが予想される  
増加基調にある現段階から積極的な人口増加施策を展開



## 自然増拡大の取組み

安心して結婚・出産・子育てができる社会

- 待機児童の解消
- 健康長寿おきなわの推進

## 社会増拡大の取組み

社会に開かれた活力ある社会

- 雇用創出と多様な人材確保
- 交流人口の拡大

## 離島・過疎地域の振興に関する取組み

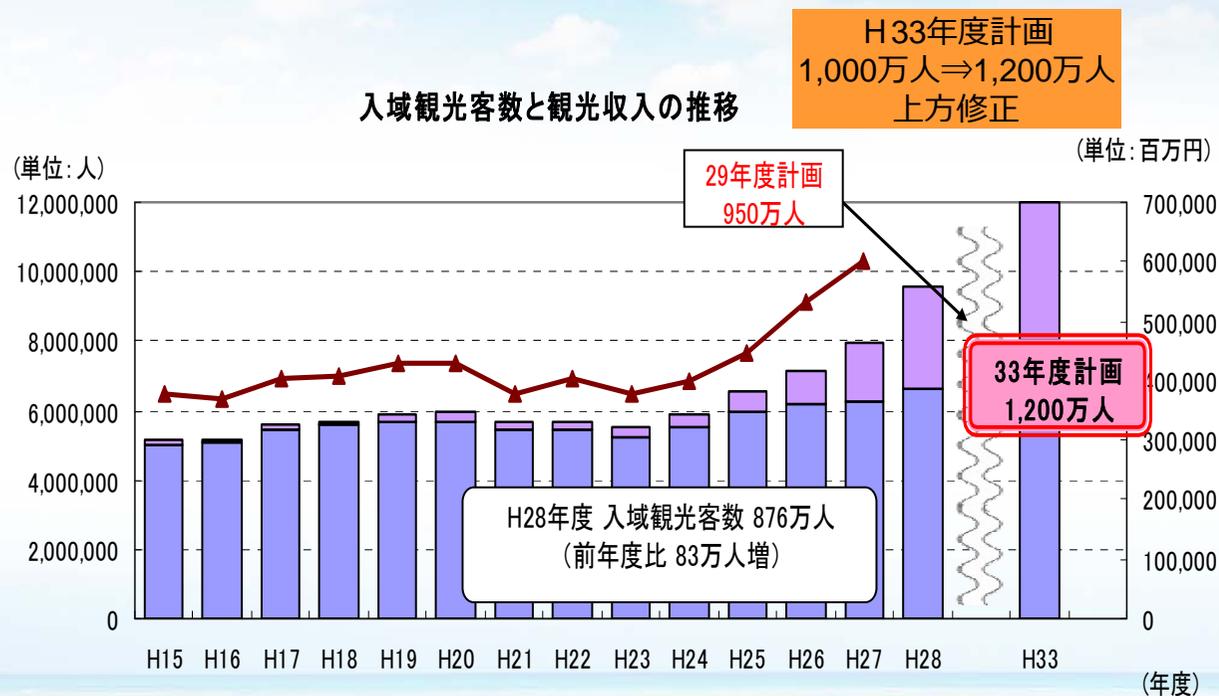
バランスのとれた持続的な人口増加社会

- 定住条件の整備
- 特色を活かした産業振興

# 観光客数の推移



平成28年度は過去最高の入域観光客数876万人  
外国人観光客は212万人(前年度比+27%)過去最高更新



(出所) 沖縄県「第5次沖縄県観光振興基本計画」

国内客(左軸)

外国人客(左軸)

観光収入(右軸)

平成28年クルーズ船寄港回数387回  
平成29年寄港予定回数502回 (+30%)

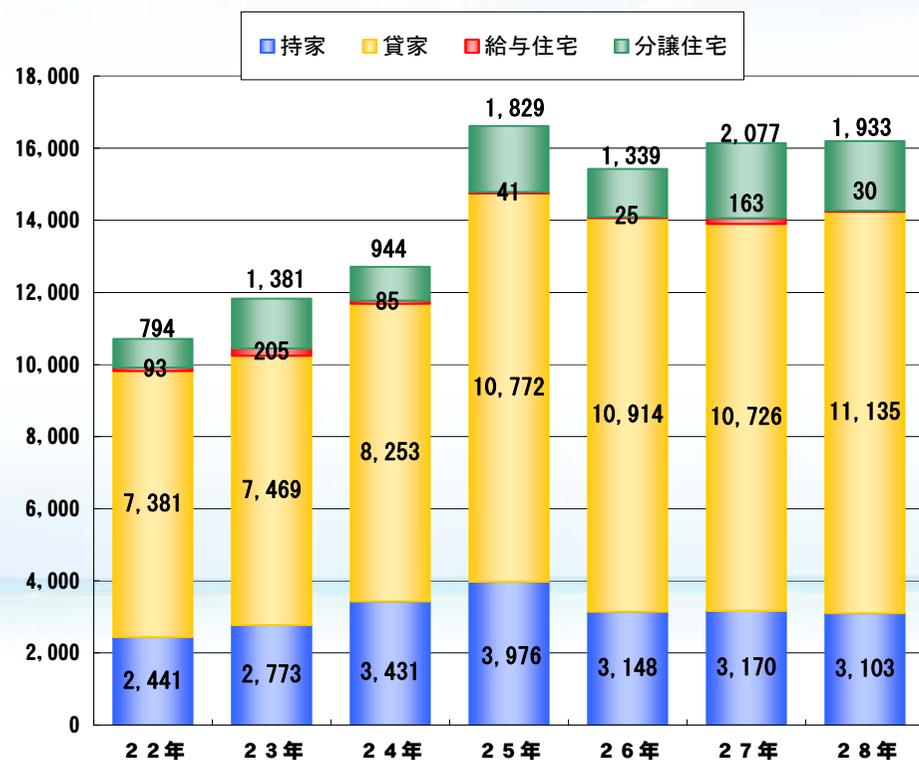


# 沖縄県の住宅市場動向

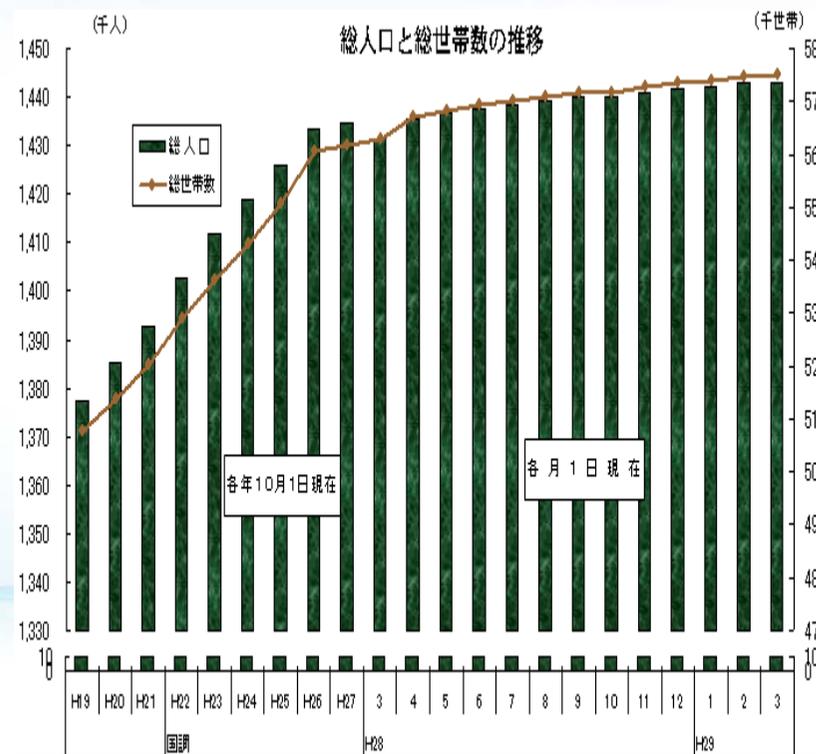


- ・県内の住宅市場は活況が続いている
- ・平成27年国勢調査で人口・世帯数ともに増加率で全国トップ

沖縄県住宅着工戸数(利用者関係別)の推移



沖縄県の総人口と総世帯数の推移



出所: 沖縄県 企画部統計課

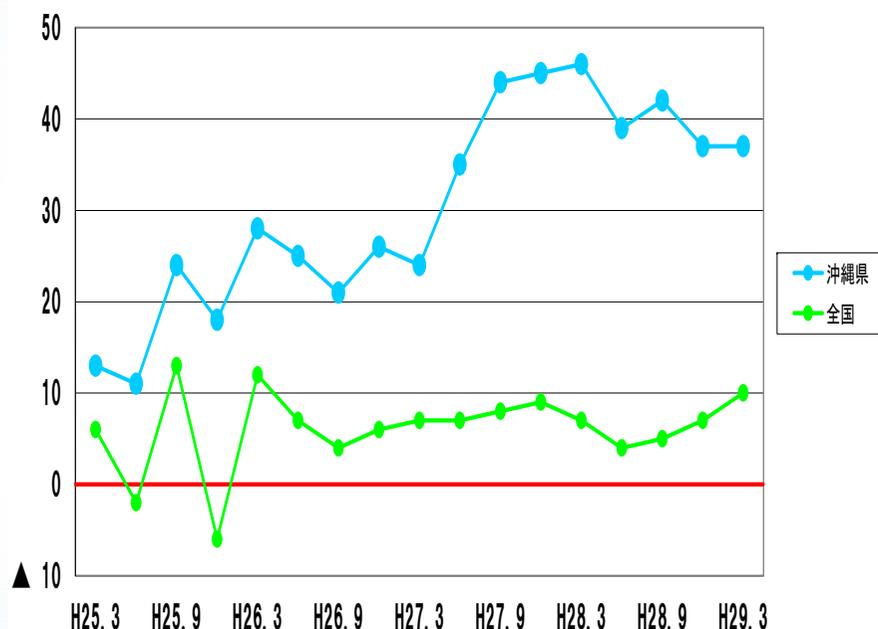


# 県内の経済動向 1



## 日銀短観

日銀短観 業況判断DI



### 概況

- ◆ 県内景気は、全体として拡大している。
- ◆ 個人消費をみると、県内人口の増加、観光需要、県内の雇用・所得環境の改善を背景に、堅調に推移している。観光をみると、国内客需要が堅調であるほか、外国客需要も増加傾向にあることから、好調に推移している。建設関連をみると公共投資は底堅く推移している。また、住宅投資は県内人口の増加等を背景に高水準で推移している。雇用・所得情勢をみると、一段と改善している。

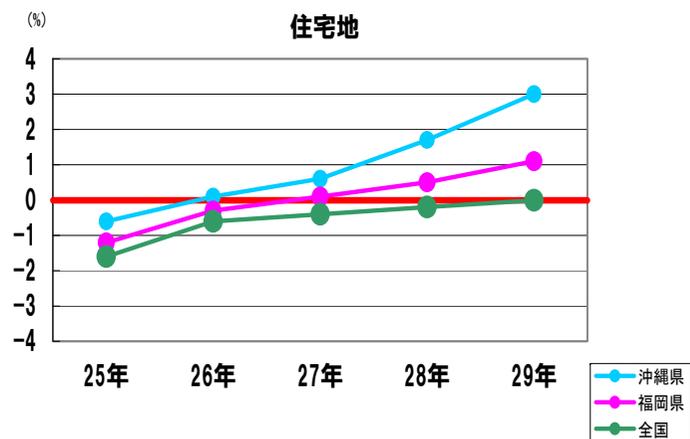
出所：日本銀行 那覇支店



# 県内の経済動向 2

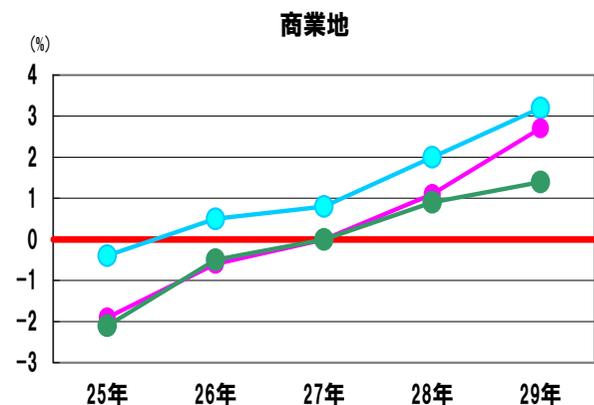


## 地価公示



### 概況

◆ 住宅地については、人口の増加を背景に、戸建住宅地・マンション素地ともに総じて需要が引き続き堅調である。特に、那覇市中心部や新都心及び真嘉比地区では、戸建住宅地・マンション需要が旺盛な一方で、適地の希少性から、上昇幅が昨年より拡大した地点が見られる。



◆ 商業地については、国内外からの観光客の増加を背景に、店舗・ホテル等の土地需要が引き続き堅調である。

出所：国土交通省

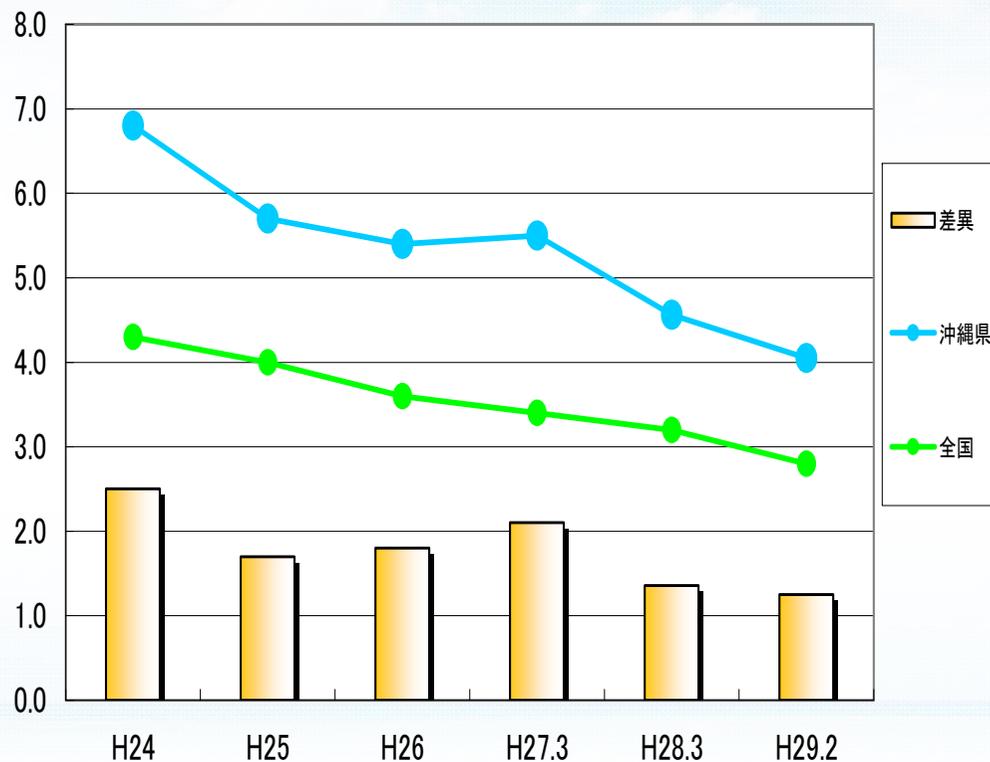


# 県内の経済動向 3



## 雇用状況

完全失業率の推移 (単位：%)



出所：沖縄県、総務省

◆ かつて全国の2倍程度あった失業率も全国水準に近づいてきている。

有効求人倍率(季節調整済) (単位：倍)

